

富木殿御消息

文永六年六月七日 四八歳

大師講の事。

今月は明性房にて候が、此の月はさしあい候。余人の中^為せんと候人候はゞ申させ給へと候。貴^{いか}邊如何仰せを蒙り候はん。又御指し^{さあ}合^あいにて候わば他処へ申すべく候。恐々謹言。

六月七日

日 蓮 花 押

土 木 殿